



業務用 小型オゾン発生器
エアクリンNYC/ACN-01

この度は、弊社の小型オゾン発生器「エアクリンNYC」(ACN-01)をお買い求めいただきありがとうございます。本装置を安全にかつ効果的にご利用いただくため、本書をご精読の上、正しくご使用いただけますよう、お願い申し上げます。

保証期間(1年間)中の故障につきましては保証書の内容にもとづき無償で修理いたします。(詳しくは無料修理規定を御覧ください)

保証書

製品名	エアクリンNYC	製造番号			
保証期間	お引渡しの日より1年間	お引き渡しの日	年	月	日
お客様	ご住所〒				
	電話()				
ご芳名	販売店名・住所				

- 1.本保証書は、本書記載の内容で無料修理を行うことをお約束するものです。
- 2.保証期間中に故障した場合には、お買い求めの販売店にお申し出ください。お引き渡しの年月日・販売店名など記入漏れがありますと無効となります。ご確認いただき、記入のない場合には直ちにお買い求めの販売店にお申し出ください。
- 3.本書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。

無料修理規定

- 1.お客様の正常な使用状態で保証期間内に故障した場合には、最寄りの販売店にお申し出のうえ、修理の際に本書をご提示ください。なお、故障の内容によっては修理にかえ、同等品と交換させていただくことがあります。
- 2.保証期間内でも、次の場合には有料修理となります。
 - (1)本書のご提示がない場合。
 - (2)本書にお引き渡し年月日・お客様名・販売店名の記入がない場合、または字句を書き替えられた場合。
 - (3)使用上の誤り、または不当な修理や改造による故障・破損。
 - (4)お引き渡し後の落下などによる故障・破損。
 - (5)火災、地震、風水害、落雷その他天災地変などの外部に原因がある故障・破損。
- 3.本保証書は日本国内においてのみ有効です。(This warranty is valid only in Japan.)

年月日	修理者	ご確認	修理メモ

この保証書は、本書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理につきましては、お買い求めの販売店にお問い合わせください

■開発・製造元

株式会社 ナカヨ 〒108-0075 東京都港区港南一丁目7番18号 A-PLACE品川東7階
TEL:03-6433-1137 https://www.nyc.co.jp

1 はじめに

オゾンは極めて反応性の高い気体で、雑菌や臭いの分子と反応し、それらを短時間で除菌・消臭します。「エアクリンNYC」はオーニット社製のオゾン発生体を搭載した除菌・消臭用オゾン発生器です。室内の様々な場所での除菌・消臭にご利用可能です。6~48畳の空間に対し22段階のきめ細かいオゾン発生レベル調整、容易なメンテナンスなど、優れた機能性・保守性はもちろん、オフィス等での利用に配慮し、働く場所にマッチした外観を目指しました。室内の除菌・消臭、衛生管理に弊社の「エアクリンNYC」を有効にご利用いただくとともに、末永くご愛用賜りますようお願い申し上げます。

2 使用上のご注意

正しくお使いいただくために、必ずお守りください

本製品の使い方を誤ると火災や感電などの事故を起こすことがあります。保守管理ご担当の方は、お客様の身体や財産に損害を与えないため、この取扱説明書を手近な所に置き、製品が正しく使われるよう遵守・保管管理して下さい。

- (※1) 重症/失明・感電・けが・やけど・骨折・中毒などで、後遺症があるもの、また、治療に入院や長期通院を要するもの
- (※2) 傷害/治療に入院や長期通院を要さない感電・けが・やけどなど
- (※3) 物的損傷/家屋・家財・設備機器、および家畜・ペットなどに関わる拡大損傷

使用方法に関する注意事項

⚠危険 人が死亡または重症(※1)を負うような切迫した危険がある内容です。

分解・改造はしない
修理は販売元に依頼する
(感電による死亡の恐れがあります。)
※本体内部には高圧電源を使用しています。

本体を落としたり、強い衝撃を与えた場合は
使用を中止し、販売店に連絡する
(本体内部のオゾン発生体が破損し、火災や感電による死亡の恐れがあります。)

⚠警告 人が死亡または重症(※1)を負う可能性が想定される内容です。

コンセントの配線器具の定格を超える使い方や、
AC100~240V 50/60Hz以外での使用はしない
(火災や感電の恐れがあります。)

本体に水をかけない
(故障や漏電の原因になります。)
※本装置は防水、防滴仕様ではありません。

ACアダプタを破損するようなことはしない
(傷をつける、加工する、熱器具に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重いものを載せる、束ねる、挟み込むなど)
(漏電や感電の恐れがあります。)
※破損した場合は、販売元にご相談ください。

濡れた手で電源プラグの抜き差しをしない
(感電の原因になります。)

「仕様」に記載されている内容以外で使わない
(故障の原因になります。)

ACアダプタプラグおよびACアダプタ本体は差し込み口に根本まで確実に差し込む
(感電や発熱による火災の原因になります。)
※備ったプラグ・アダプタ、ゆるんだコンセントは使用しないでください。

換気のできない場所で運転しない
(オゾン濃度が高くなり過ぎて気分が悪くなる恐れがあります。)
※換気手段(窓・扉・換気設備)がある場所でご使用ください。

ACアダプタは必ず付属のものを使用し、付属のACアダプタを他の製品で使用しない
(故障の原因になります。)

オゾン発生中に吹き出し口から、息を直接吸い込まない
(高濃度オゾンを長時間吸うと人体に障害がでる恐れがあります。)

オゾン吹き出し口から、物を入れない
(感電や故障の原因になります。)

オゾンに関する注意事項

⚠警告 人が傷害(※2)を負ったり、物的損傷(※3)の発生の可能性が想定される内容です。

下記材質は高濃度オゾンに直接触れないようにする

- ①天然ゴム類(劣化の原因になります。)
※ある程度オゾン耐性が認められているもの
シリコン(Si)・アクリル(ACM、ANM)・エチレンプロピレン(EPD、EPDM)・フタル(HR)の各ゴム
※高濃度のオゾンに直接触れても耐性があるもの
フッ素(FPM)
- ②貴金属製品などの貴重品
(オゾンの酸化作用・漂白作用により装飾性を損なう恐れがあります。)
- ③塗装皮膜・油脂皮膜のない鉄製品などの錆びやすいもの
(オゾンの酸化作用で錆の進行が促進される恐れがあります。)
※一般的にオゾン耐性があるもの
アルミ製品・ステンレス製品
※高濃度オゾンに直接触れても耐性があるもの
SUS304・SUS316
- ④一部の皮革製品
(オゾンにより質感が変化する恐れがあります。)
- ⑤電気製品
(オゾンの酸化作用で劣化する恐れがあります。)

必ず使用目的と広さにあった発生量で使用する

※本製品は空間のオゾン濃度が安全なレベルとなるようオゾン発生量を設定することで有人下でもご使用いただけます。

※誤ったオゾン発生量の設定をすると、オゾンの効果がなくなったり、人体に影響を与える可能性があります。
※オゾンは、正しい使用方法で用いていれば危険ではありませんが、オゾンに対する感じ方には個人差がありますので、ご使用の際は下記に注意してください。

- オゾンの吹き出し口に近接して使用しない
- 乳幼児の手の届く場所では使用しない
- 体の不調等を意思表示できない病人や老人のいる場所で使用の際は十分に注意して使用する
- 呼吸器の弱い方(乳幼児・喘息の方など)は特に濃い濃度のオゾンを吸わないように注意する
- 小動物のいる環境で使用の際は、その様子に注意を払う

気中オゾンの生物への影響

濃度 [ppm]	生物への影響	備考
0.01~0.03	ほとんど臭わない	自然界の日中の濃度
0.04~0.06	さわやかな臭い、オゾンの臭いがある	海岸・山(晴天の夏PM2:00)
0.06	これ未満は慢性肺疾患患者の肺機能に影響なし	オキシダント環境基準
0.08	不快感があるのどが痛い、目がチカチカするなど	不快基準
0.10	人体への影響(のどが痛い、鼻が痛い、目が痛い)	日本産業衛生協議会許容勧告濃度、USA環境基準

※上記の表は、下記文献を抜粋引用させていただきました。
参考文献:「新版オゾン利用の新技術」サンユー書房 平成5年2月 表11-41
「有害管理のための測定法」労働科学出版部 1969年 102頁

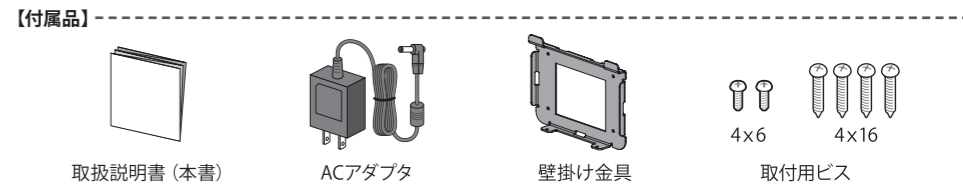
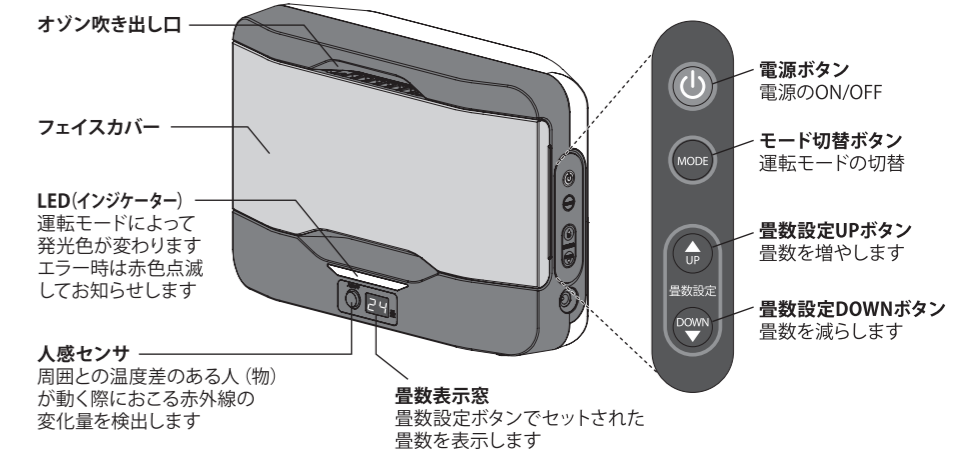
お手入れに関する注意事項

⚠警告 人が死亡または重症(※1)を負う可能性が想定される内容です。

お手入れの際は必ずACアダプタ本体をコンセントから抜く
(感電の原因になります。)
※ACアダプタを抜くときは、コードではなくACアダプタ本体を持ってください

ACアダプタのほこりなどは定期的に取り除く
(火災の原因になります。)
※ほこりがたまると湿気などで絶縁不良になります。

3 各部名称および付属品

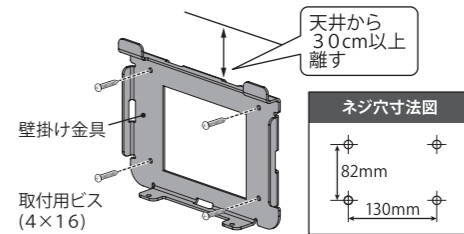


4 設置方法

プラスドライバーをご用意ください。

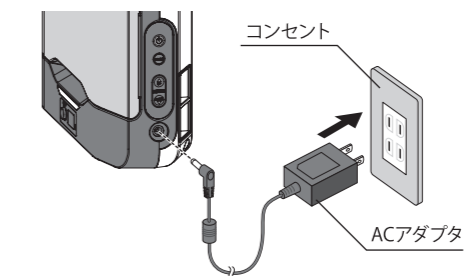
電気製品から30cm以上離し、地震・災害等により倒れたり落下したりしないところに設置してください。

1 壁掛け金具の取り付け(壁面設置の場合)



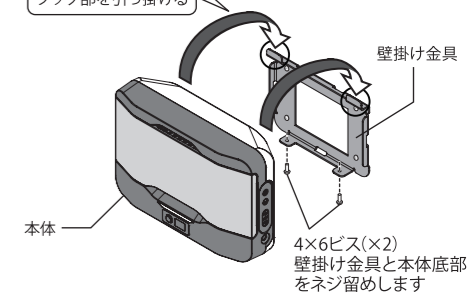
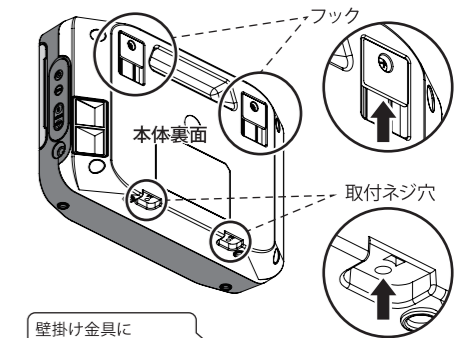
できるだけ高く、遮い物のないところに設置する
室内のすみずみにまでオゾンを拡散させるため
□0~40℃で結露がないところで、天井から30cm以上離れた場所に設置する。
※長期間使用すると天井壁面が塵埃で黒く汚れることがあります。
□センサモードONで運転させる場合は、人の出入り口から5m以内に設置する

2 ACアダプタの接続



3 本体の取り付け(壁面設置の場合)

本体裏面のフック(×2)と底面のネジ穴(×2)を確認してください。

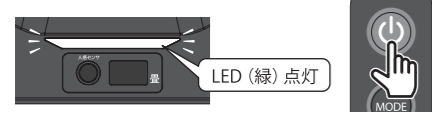


⚠注意
・ACアダプタコードの挟み込みに注意する
・装置が倒れたり、落下しないようにする
(感電や発熱による火災の原因になります。)

5 設定・確認方法

1 通常モード運転開始

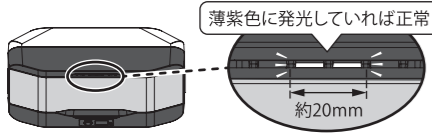
電源ボタンを押して、通常モード運転を開始する(ファンが回転してオゾンの発生を開始します。通常モードでは人感センサは反応しません。)



※フェイスカバーが確実に取り付けられていることを確認してください。正しく取り付けられていないとLEDが赤色に点滅します。

2 オゾン発生帯の発光確認

吹き出し口から発生帯を確認する



※本体正面、斜め上から吹き出し口をのぞくと発生帯が見えます。

注意 吹き出し口の近くで、長時間オゾンを引き込まない(高濃度オゾンを長時間吸うと人体に傷害がでる恐れがあります。)

下記の場合は故障の可能性があるため販売元にご連絡ください

- 発生帯の表面が乾いているのにまったく発光しない
- 発光色が薄紫色ではなくオレンジ色の部分がある
- 発光が全体でなく、一点に集中して稲妻状の放電現象が見られる

3 量数設定

量数設定ボタンを押して、使用する場所の量数を設定する



※電源をOFFにしても動作時に入力した量数は記憶されます。

4 センサモードの設定

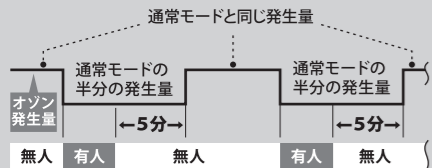
電源ONからMODEボタンを1回押すとセンサモードで運転を開始します



注意 人感センサを汚さない(検出性能劣化の原因になります。)
人感センサに荷重や衝撃を加えない(動作不良・性能劣化の原因になります。)

センサモードについて

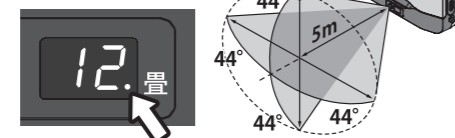
人感センサが人を検知するとオゾン発生量を通常モードの半分にします。



※5分間人を検知しないと、元の発生量に戻ります。

5 人感センサの反応確認

人感センサが人を検知すると量数表示窓右下のドットが点灯します。



※運転開始から40秒間は人感センサの検出機能がはたらきません。(センサモードの設定は可能です。)

人感センサについて

人感センサは、赤外線の変化を検出する焦電型赤外線センサです。下記のような場合には正常な検知をしないことがあるため、必ず実際の使用状況でセンサが反応することをご確認ください。

1. 人体以外の熱源を検出する場合

- (1) 体温に近い人体以外の熱源がある場合
- (2) 太陽光、自動車のヘッドライト、白熱灯などの遠赤外線がセンサに直射する場合
- (3) 冷暖房機器の温風、冷風や加湿器の水蒸気などにより検出範囲の温度が急激に変化した場合

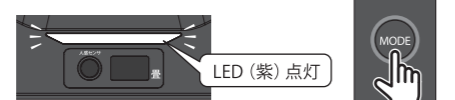
2. 熱源を検出しにくい場合

- (1) ガラスやアクリルなど、遠赤外線を透過しにくい物体がセンサと検出物体の間にある場合
- (2) 検出範囲内の熱源がほとんど動かない場合、もしくは高速に移動する場合

6 急速モードの設定

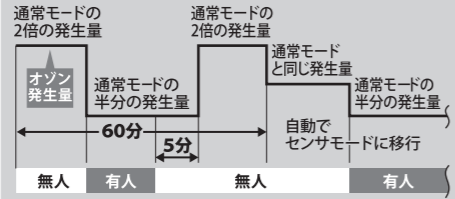
電源ONからMODEボタンを2回押すと急速モードで運転を開始します

※急速モードは通常モードの約2倍のオゾン発生量で運転します。(量数設定24量以上は最大のオゾン発生量20mg/hで運転します。)
※急速モードは60分後に自動的にセンサモードへ戻ります。
※急速モード中に人感センサに反応があった場合はセンサモードのオゾン発生量(通常モードの半分)に変更されます。



急速モードについて

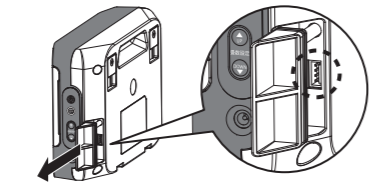
人感センサが人を検知するとオゾン発生量を通常モードの半分にします。



※5分間人を検知しないと通常モードの2倍の発生量に戻ります。(量数設定24量以上は最大のオゾン発生量20mg/hで運転します。)

7 外部I/F

市販のタイマ等を接続することで電源ON/OFFを外部から操作できます。



外部インタフェースカバーを矢印の方向に引きI/F端子を露出させます。I/F端子の1,4ピンに無電圧接点入力を受けることで装置本体の電源ボタンを押下した場合と同様の操作を行います。適合コネクタ: molex製1538047相当品
インタフェース条件: 無電圧接点(常開型、動作時パルス幅0.5~2.5sec)

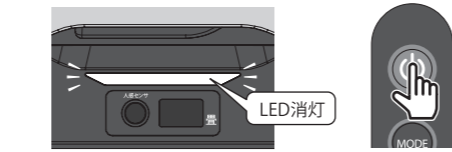
6 保守・点検方法

週に1度、オゾン発生を確認してください。1ヶ月に1度、下記のお手入れをしてください。

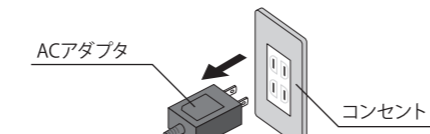
■性能を長期にわたって維持し、使用していただくために、月に一度はお手入れしてください。(※使用環境によっては1ヶ月より早くお手入れが必要な場合があります。)

1 運転停止

電源ボタンを押して、電源をOFFにする(3秒後にファンが停止し、オゾンの発生が停止します。)

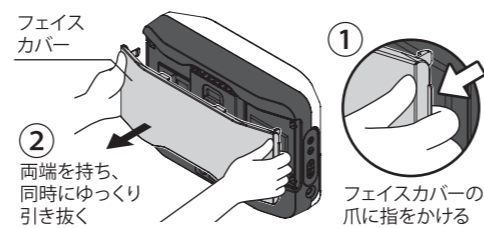


2 ACアダプタの取り外し



注意 お手入れの際には必ずACアダプタをコンセントから抜く(感電の恐れがあります。)

3 フェイスカバーの取り外し

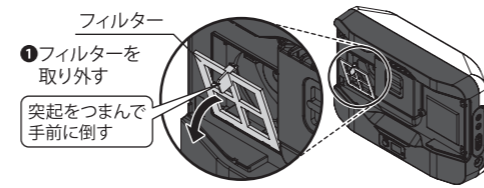


安全装置(フェイスカバー着脱検知センサー)について

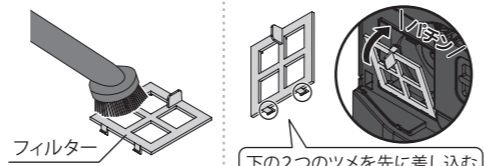
安全のため、フェイスカバーが外れると、LEDが赤色点滅(1秒間に1回)し電源がOFFする仕組みになっています。フェイスカバー裏面の4つのツメが折れると定位位置に固定できなくなりますので、取り付け・取り外しの際は、ツメを破損しないように気をつけてください。

4 フィルターの点検・清掃

フィルターがゴミやほこりで目詰まりすると、オゾンが効果的に発生できなくなるだけでなく、オゾン発生体の寿命にも悪影響を及ぼします。定期的な点検し、著しくゴミやほこりが付いている場合は掃除機等で掃除してください。



- ① フィルターを取り外す
- ② 掃除機等で掃除する
- ③ フィルターを取り付ける

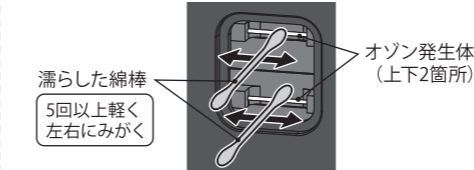


注意 フィルターはしっかりと取り付ける(故障の原因になります。)

5 オゾン発生体のお手入れ



- ① ラバーキャップを外す
- ② 水に濡らした綿棒でオゾン発生体(上下2箇所)を5回以上軽く左右にみかく



※オゾン発生体は割れやすいため、無理な力を入れてこすったりせず、なぞるように掃除してください。
※オゾン発生体の表面に茶色や黒の付着物がこびりついて取れなくても、お手入れ後に発光が確認できれば問題ありません。

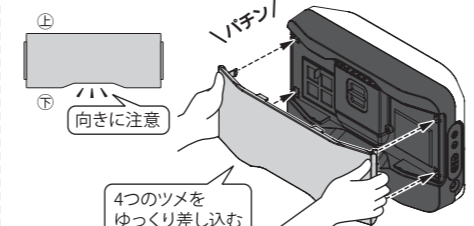
注意 本体に水をかけない(故障や漏電の原因になります。)
※本装置は防水、防滴仕様ではありません。

- ③ 十分に乾燥させる
- ④ ラバーキャップを閉める

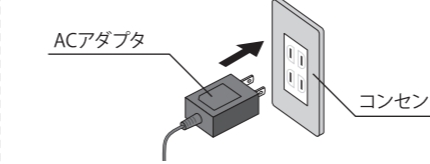


注意 ラバーキャップは確実に閉める(故障や漏電の原因になります。)

6 フェイスカバーの取り付け



7 ACアダプタの取り付け



※本体設置前に必ず発光確認をしてください。

※発生帯が十分に乾燥していない場合、または発光が確認できない場合は1時間程度電源を入れたままにしておき、再度確認をしてください。

8 各種機能の再設定・再確認

- ▶ 5 設定・確認方法 1~6参照

7 仕様

製品名/型番	エアクリーンNYC/ACN-01	
電源	ACアダプタ	
定格入力	AC100~240V 50/60Hz	
定格出力	DC12V 1A	
消費電力(アダプタ使用時)	6W	
本体消費電流	DC12V 450mA	
オゾン発生量(24量の場合)	通常モード	10.14mg/h
	センサモード	5.07mg/h
	急速モード	20mg/h
ファン定格風量	0.18m ³ /min	
外形寸法	261(W)×78(D)×170(H)mm	
本体重量	本体:930g/取付板金:138g	
推奨適用広さ	6畳~48畳	
使用温度範囲	0~40℃(結露のないこと)	

※当装置は薬機法における医療器具ではありません。
※上記仕様及び外観は予告なく変更することがあります。

8 アフターサービス

1 保証について

- 保証期間は、ご購入日から1カ年です。
- 保証書は必ず「販売元・購入日」等の記入をご確認の上、大切に保管してください。

2 修理を依頼されるときは

- お求めの販売店にご相談ください。
- 本製品の補修用部品は製造打ち切り後8年を目安として保有しております。その期間は原則として修理をお引き受け致します。

9 トラブルと対応

故障かな?と思ったら

下記対応を行っても解決しない場合は、「1. 具体的な状況」「2. 保証期間の有無」「3. 機種名称」をお買い上げの販売元までご連絡ください。

トラブルの内容	原因	対応	参照
電源が入らない	ACアダプタがコンセントから抜けている。	ACアダプタを差し込んでください。	4 2
	ACアダプタプラグが本体に差し込まれていない。	ACアダプタプラグを確実に差し込んでください。	
	運転状態になっていない。	電源ボタンを押して運転状態にしてください。	5 1
	ACアダプタコードが断線している。	ACアダプタの交換を依頼してください。	-
LEDが赤色点滅する(1秒間に1回)	フェイスカバーが確実に取り付けられていない。	「パチン」というまで押し込んでください。	6 6
	LEDが赤色点滅する(1秒間に4回)	オゾン発生体やファンが故障している可能性あり。	故障が考えられるので、修理を依頼してください。
ファンが回らない	運転状態になっていない。	電源ボタンを押して運転状態にしてください。	5 1
	5分以上待ってもファンが回らない。	ファンの故障が考えられるので、修理を依頼してください。	-
オゾン臭がしない	運転状態になっていない。	電源ボタンを押して運転状態にしてください。	5 1
	オゾン発生体汚れている。	お手入れをしてください。	6 5
オゾン発生中に「シャー」と音がする	故障ではありません。	-	-
「パチパチ」または「ジー」と音がする	オゾン発生体が破損している可能性あり。	修理を依頼してください。	-
LEDが点灯しない	運転状態になっていない。	電源ボタンを押して運転状態にしてください。	5 1
	LEDが消灯に設定されている	LEDの輝度調整を行ってください。	6 9
他の電気製品にノイズが乗る	オゾン発生体の放電による影響の可能性あり。	設置場所を変更してください。	-